

酒井邦雄教授 略歴及び研究業績目録

略 歴

氏 名 さか い くに お 酒 井 邦 雄

本 籍 静岡県

生年月日 昭22年 8 月24日

学 歴

- 昭和41年 3 月 静岡県立掛川西高校卒業
- 昭和42年 4 月 中央大学商学部経営学科入学
- 昭和46年 3 月 中央大学商学部経営学科卒業
- 昭和46年 4 月 中央大学大学院経済学研究科 経済学専攻修士課程入学
- 昭和49年 3 月 中央大学大学院経済学研究科 経済学専攻修士課程修了
- 昭和49年 4 月 中央大学大学院経済学研究科 経済学専攻博士課程入学
- 昭和52年 3 月 中央大学大学院経済学研究科 経済学専攻博士課程単位取得退学

学 位

- 平成13年 3 月 博士（経済学）の学位取得（中央大学経博乙第43号）

職 歴

- 昭和52年 4 月 愛知学院大学商学部専任講師
- 昭和56年11月 愛知学院大学商学部助教授
- 平成 3 年 5 月 愛知学院大学商学部教授
- 平成 6 年 4 月 愛知学院大学産業研究所長（平成11年 3 月まで）
- 平成15年 4 月 愛知学院大学商学部長（平成17年 3 月まで）
- 平成19年 4 月 愛知学院大学大学院商学研究科長（平成21年 3 月まで）
- 平成20 年 8 月 愛知学院大学キャリアセンター部長（平成26年 3 月まで）
- 平成25年 4 月 愛知学院大学経済学部教授
- 平成30年 4 月 愛知学院大学経済学部客員教授
- 令和 2 年 4 月 愛知学院大学名誉教授

(学会及び社会における活動等)

昭和49年4月 日本経済政策学会学会会員 (～現在:常務理事:平成16年～29年 (副会長:平成22年～平成27年):令和2年:名誉会員)

昭和49年4月 日本経済学会会員 (～平成30年3月迄)

昭和53年4月 計画行政学会会員 (～平成30年3月迄)

昭和55年4月 ロシア東欧学会会員 (～平成30年3月迄)

平成8年4月 環境経済・政策学会会員 (～平成30年3月迄)

研究業績一覧

〈Ⅰ 著書〉

- (1) 中央大学経済研究所編 (1985) 『社会主義経済の現状分析』 中央大学出版部。
- (2) 現代経済政策研究会編 (1985) 『現代経済の政策的課題』 自費出版。
- (3) 中央大学経済研究所編 (1992) 『体制転換』 中央大学出版部。
- (4) 藤井隆編著 (1994) 『競争と協力の政策学』 同分館。
- (5) 酒井邦雄・寺本博美・吉田良生・中野守編 (1995) 『制度の経済学』 中央大学出版部。
- (6) 中央大学経済研究所編 (1998) 『市場経済移行政策と経済発展』 中央大学出版部。
- (7) 酒井邦雄 (2000) 『ソ連の経済発展と技術進歩』 成文堂。
- (8) 酒井邦雄編 (2001) 『豊かな社会における新しい経済政策手法の研究』 科研報告書。
- (9) 酒井邦雄・寺本博美・吉田雅彦・村上亨 (2002) 『経済政策入門』 成文堂。
- (10) 酒井邦雄他編 (2006) 『ポスト産業資本主義下の制度改革』 成文堂。
- (11) 酒井邦雄・寺本博美・吉田雅彦・村上亨 (2011) 『経済政策入門第2版』 成文堂。
- (12) 中野守編 (2006) 『現代経済システムと公共政策』 中央大学出版部。
- (13) 飯島大邦編 (2018) 『格差と経済政策』 中央大学出版部。

〈Ⅱ 学術論文〉

- (1) 「分権化に関するノート」 (1979) 『商学研究』 第24巻第3・4号。
- (2) 「計画理論と収穫逓増」 (1980) 『商学研究』 第25巻第4号。
- (3) 「不確実性下の計画理論」 (1981) 『商学研究』 第26巻第2号。
- (4) 「二層計画理論」 (1981) 『地域分析』 第19巻第2号。
- (5) 「計画プロセスとインセンティブ」 (1982) 『環太平洋連帯と日本経済』 日本経済政策学会年報第30巻。
- (6) 「ソ連経済と技術進歩」 (1984) 『地域分析』 第23巻第1号。
- (7) 「ソ連の工業生産」 (1986) 『商学研究』 第31巻第2号。
- (8) 「ソ連経済改革の実証分析」 (1986) 『ソ連・東欧学会年報』 第14巻。
- (9) 「不足の経済と技術進歩」 (1988) 『商学研究』 第33巻第1号。
- (10) 「ソ連工業における体化モデル」 (1989) 『中央大学経済研究所年報』 第19号 (I)。
- (11) 「ソ連における投資のインフレーション」 (1991) 『商学研究』 第36巻1・2号。
- (12) 「投資のインフレーション」 (1992) 『地球環境問題と経済政策』 日本経済政策学会年報第40巻。
- (13) 「ロシア経済の市場化政策」 (1994) 『商学研究』 第38巻第1・2号。
- (14) 「ロシア経済の市場化政策の現状と課題」 (1995) 『日本の社会経済システム』 日本経済政策学会年報第43巻。
- (15) 「ロシアの科学技術政策」 (1995) 『中央大学経済研究所年報』 第25号。
- (16) 「旧ソ連経済の不効率性」 (1996) 『経済学論纂 (中央大学)』 第36巻第5・6合併号。
- (17) 「制度の経済学」 (1996) 『地域分析』 第36巻第1号。
- (18) 「制度変化の経済学」 (1999) 『商学研究』 第42巻第3・4号。
- (19) 「ロシア経済の市場化政策—産業政策の観点から—」 (2001) 『中央大学経済研究所年報』 第31号。
- (20) 「ロシア産業の競争力—制度取り決めの観点から—」 (2001) 『総合政策研究 (中央大学)』 第8号。
- (21) 「産業クラスター戦略と地域産業政策」 (2006) 『地域分析』 第45巻第1号。

- (22) 「東海ものづくり創世プロジェクトの現状と課題」(2009)『商学研究』第49巻第3号。
- (23) 「大学および産業研究所の新たな役割—産学連携の観点から—」(2011)『地域分析』第50巻記念号。
- (24) 「経済成長戦略の新たな視点—経済成長と制度—」(2015)『改革者』2015年11月号。
- (25) 「オープンイノベーションと制度」(2017)『経済学論纂 (中央大学)』第57巻第5・6号合併号。
- (26) 「バブル崩壊後の日本の経済成長」(2018)『経済学研究』第6巻第1号。

〈Ⅲ学会発表〉

- (1) 「計画プロセスとインセンティブ」(1981) 日本経済政策学会第38回全国大会 (一橋大学)。
- (2) 「ソ連経済改革の実証分析」(1985) ソ連・東欧学第14回会全国大会 (南山大学)。
- (3) 「ソ連の投資のインフレーション」(1991) 日本経済政策学会第48回全国大会 (東洋大学)。
- (4) 「ロシア経済の市場化政策の現状と課題」(1994) 日本経済政策学会第51回全国大会 (愛知学院大学)。

〈Ⅳその他〉

- (1) 以下の日本経済政策学会全国大会の共通論題および各セッションでの座長
2013 (東大), 2014 (神戸大学), 2015 (国士舘大学), 2016 (九州産業大学), 2017 (亜細亜大学),
2019 (城西大学)
- (2) 以下の日本経済政策学会国際学会での chair
2011 (関西学院大学), 2015 (東洋大学), 2016 (北海道教育大学), 2017 (琉球大学), 2019 (中央大学)